

鮫洲運動公園

グラウンドオープン

鮫洲北町会より



四月三日(日)、鮫洲運動公園が新しく生まれ変わりオープン致しました。東日本大震災によりオープニングセレモニーは、中止となりましたが、午前十時開園も待ちきれず二十名近くの親子づれの方々がいまかいまかと入園を楽しみに十時オープンと同時に沢山の方々が押しよせ、大盛況でした。四月十六日(土)は、お隣りに全面人工芝のスポーツ公

園(野球場二面又はサッカー一面競技可能コート)が完成し久しぶりに待ちわびた野球少年団の火ぶたが切られました。五月五日(こどもの日)には、品川区主催の公園のヒミツ探検・大スタンプラリーが開催され各チェックポイントでゲームをしたりクイズに答えてスタンプを集めプレゼントをもらい楽しい一日を過ごしておりました。ここは子供達の天国です。

我が町、鮫洲北町会友の会の方々も一日おきに公園、グラウンドの回りの清掃をし、お花に水を上げて下さり美化運動に貢献して下さいっております。皆様、是非お天気の良いい日は、お弁当持参で緑に囲まれた鮫洲運動公園にピクニックに来られては、如何ですか。

大井競馬場で被災地復興

チャリティーイベント開催

勝島町会より

四月三日(日)大井競馬場内パドック付近で、午前十時から午後二時まで大井競馬関係者団体と大井第一町会連合会の共催で、「被災地復興チャリティーイベント・今、私達にできること！」が開催され、募金活動として来場者には豚汁・鯛焼き・焼きそば・綿菓子などが振舞われました。又その他ジョッキーによるサイン会、調教師・騎手グッズチャリティーオークションなどが行なわれ、会場は熱気に溢れ盛り上がりました。

当日の天候は曇りで気温が九℃と寒い日でありましたが、被災地を応援しようと思集まった競馬ファンや周辺地域・町会からの家族連れの参加者も

多く、三千二百人を超える来場者がありました。

自粛ムードの中、こういう時期だからこそ「子供達に元気と笑顔を」をテーマに、ポニーの乗馬とミニチュアホースとの触れ合いの場が用意され、結果はやはり人気者で長蛇の列が出来ていました。

集まった募金とチャリティーグッズ販売・オークションの収益は二百三十四万円、日本赤十字社を通じ全額義援金として寄付されました。



ホームページ開設

北浜川仲町会より

昨年七月に品川区地域活動課から町会ホームページ開設及び活用講習会の募集を受け町会長の判断で、申し込み、大井第一地区では水神町会に次いで二町会目として、明治大学院理工学研究所の学生さんの指導で研修を受け、今年の五月からホームページ開設にこぎつける事となりました。町会の会員の方々に会長名で次のようなお知らせを回覧扱いで配布しました。

『ホームページ開設のお知らせ!!』

会員の皆様には、益々々清栄のことと、お慶び申し上げます。平素は町会の運営、行事につきまして格別のご理解、ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

今後とも、安全で明るい町

づくり推進のため、事業の充実、発展に努めて参りたいと思います。

この度、品川区地域活動課の要請により、ホームページ開設の運びとなりました。役員並びに理事の方々の、ご理解ご協力を得て、充実したものに仕上げていきたいと思っております。

最後に皆様のご健勝と、北浜川仲町会ホームページのご利用を祈念して開設のお知らせとご案内申し上げます。

ホームページアドレスは、
<http://kitahamakawanaka.chokai.gr.jp/> によ。』

町会の広報活動としてホームページの活用は、回覧板・掲示板と共にこれからも大切なことと思っております。

意識高まる防災訓練

大井海岸町会より



三月十一日の東日本大震災もまだ予断を許さない二週間後の二十七日に私達の町会では防災訓練をしました。地域の方・防災部などこの時だからこそ意識の高さで総勢二十九名の参加でした。

大井消防署からも震災の対応でお忙しい中四名の方が来て下さいました。初めに初期消火訓練として消火器の扱い方を順番に全員でやりました。

上手にすぐ水の出せる人もいれば、ピンをはずすのに手間どったり、水が思う方向に行かない人もいた為イザという時のためにとても良い勉強になりました。その後町会事務所ので二階でAED（自動体外式除細動器）の使い方を学びました。初めに今回の地震の現状と防災への対策など、お話があり皆真剣に聞き入っていました。いよいよAEDの実習です。一人ずつAEDの前に座り近くの人に『一九番通報』を頼みAEDの操作を始めました。自分の身体などに触れない様に作動させました。時には質問をしたり、時には照れ笑いをしたりと、和気あいあいの中、無事終了しました。短い時間でしたが貴重な体験が出来、とても良かったと思っています。

何人も真似の出来ない

素晴らしい人生

大井元芝町会より

今回ご紹介する杉山佐一郎さんは、元芝町会在住六十五年、杉山製作所経営のかたわら、町会役員として五十年に亘り町会活動を支えてこられました。九十一歳となられた現在も、町会副総務として町会内の掲示板張り等で活躍されています。

杉山さんは大正九年八月二十日、田方郡対馬村池（現在の静岡県伊東市）に生まれ、その後元芝町会に移住されています。四人のお子さんと九人のお孫さん曾孫もいる大家族となった現在も、できる限り自分のことは自分でするという信念のもと、元氣いっぱい一人暮らしをされています。杉山さんの元氣の元は、

飽くなき挑戦心と前向きな姿勢といえるでしょうか。

関ヶ原ラボと元関寿会に所属し、脳トレ、卓球、カラオケ民謡等多方面に参加し、また、品高連輪投げ大会には選手として出場しています。さらにマンション管理の仕事もこなすスーパー元氣印の杉山さん、子供達からの同居の誘いも断り、生き生きとした毎日をご過ごされています。

会社を退かれる前には、(株)リコーより、リコーの百数社の取引先の中から、不良品率が極端に少ない会社として表彰されたとか。真面目で几帳面な杉山さんらしいエピソードですね。

これから町の人々に元氣をくれる杉山さんのパフォーマンス、期待しています。

《地区委員会事業より》

例年七月に地区委員主催で開催され、たくさんの子ども達に喜ばれております『子どもカーニバル』ですが、本年は諸事情により中止となりました。楽しみにしていた皆さん、ごめんなさい。

皆様ご存じの事とは思いますが、「地区委員会」のフルネームは「品川区青少年対策大井第一地区委員会」と言います。各町会から推薦を受けた有志、管内学校PTA、体育指導員、青少年委員等が品川区長からの委託を受けて、青少年健全育成の推進のため、特に子ども対象の事業を各方面との連携を取りながら企画・実施・運営をしています。

「子ども達は地域の未来を担う重要な人材です。彼らが心身ともに健やかで人間性豊かに成長して行くことで、地域の豊かな未来が約束されます。そして、そのためによりよい環境を整えるべく努力することを通して、現在の地域生活もより豊かなものになって行きます。」私達はそういった思いで日夜活動が続けています。

今後とも、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

編集 後 記

地域ニュースも二十五周年を迎え、大井第一町会連合会の広報誌としての役割を充分達成しているものと自負しています。今年は東日本大震災という想定外の災害でさくらまつりも区民まつりも中止が決定。ちょっと残念ですが「ガンバロウ日本」の心意気で、日本人の底力を信じたいものです。（編集委員一同）